

2 0 2 1 年 9 月 1 6 日

公益社団法人
神奈川県病院協会
会長 吉田勝明 先生

日本慢性期医療協会
会長 武久 洋三
第 2 9 回日本慢性期医療学会
学会長 鈴木龍太

『第 2 9 回日本慢性期医療学会』ご後援ならびにご協賛のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は一方ならぬご高配にあずかり、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当日本慢性期医療協会では、下記日程の通り第 2 9 回日本慢性期医療学会を開催いたします。今年度は学会テーマを『慢性期医療は進化する ー医療・介護・地域の統合ー』として開催し、よりよい慢性期医療を目指して研鑽を積んでいく所存でございます。

つきましては、本学会への御後援と御協賛を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

学会名 第 2 9 回日本慢性期医療学会
テーマ 慢性期医療は進化する ー医療・介護・地域の統合ー
学会長 鈴木龍太（神奈川県・医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 院長）

日 程 2 0 2 1 年 1 0 月 1 4 ・ 1 5 日（木・金）
開催方法 オンライン開催
収録会場 パシフィコ横浜ノース
参加者 慢性期医療に携わる職員 約 2, 0 0 0 名

主 催 日本慢性期医療協会
東京都新宿区富久町 1 1 - 5 シヤトレ市ヶ谷 2 階
TEL. 0 3 - 3 3 5 5 - 3 1 2 0 FAX. 0 3 - 3 3 5 5 - 3 1 2 2

第29回日本慢性期医療学会

予定

学会テーマ慢性期医療は進化する—医療・介護・地域の統合—

会期 2021年10月14・15日（木・金）

場所 収録会場（パシフィコ横浜 ノース）

学会長 鈴木龍太（医療法人社団三喜会 鶴巻温泉病院 院長）

【10月14日（木）学会1日目】

9:00~9:50 開会式

10:00~10:50 記念講演「慢性期医療は進化する」

演者 武久洋三 日本慢性期医療協会 会長

座長 中川翼 日本慢性期医療協会 副会長

11:00~11:40 学会長講演「慢性期多機能病院と介護医療院の役割」

演者 鈴木龍太 日本慢性期医療学会 学会長

座長 橋本康子 日本慢性期医療協会 副会長

11:40~12:20 教育講演 「医療の進化に必要な慢性期のQI」

演者 矢野諭 日本慢性期医療協会 副会長

座長 橋本康子 日本慢性期医療協会 副会長

12:30~13:20 共催セミナー

13:30~16:50 シンポジウム①「With Corona 時代の医療の進化」

趣旨：2020年は新型コロナウイルス感染症で世界が大きく変化しました。コロナ禍が一時落ち着いたとしても、終わりになることはありません。また新たな脅威となる感染症が発生する可能性もあります。新型コロナウイルスの蔓延で医療は大きな打撃を受け、医療崩壊が間近に迫った時期もありました。医療崩壊を防ぐためには一度だけの対策ではなく、今後も密を避け、ソーシャル・ディスタンスを取る必要があります。With Corona 時代の医療はどうなっていくのでしょうか？人類はこの変化を進化に変えなければいけません。日本の医療界を担う方々にご登壇いただき、With Corona 時代の医療の進化を論じていただきます。

基調講演 座長 池端幸彦 日本慢性期医療協会 副会長

13:30~14:00 阿南英明 神奈川県医療危機対策統括官

14:00~14:30 迫井正深 厚労省医政局長

シンポジウム 座長 池端幸彦 / 鈴木龍太 日本慢性期医療学会 学会長

15:00~15:20 釜范敏 日本医師会常任理事

15:20~15:40 安藤高夫 衆議院議員

15:40~16:00 登谷大修 福井県済生会病院院長

16:00~16:20 豊田剛一郎 (株)メドレー代表取締役医師

16:25～16:50 シンポジウム総合討議

座長 池端幸彦副会長 / 鈴木龍太 日本慢性期医療学会 学会長

シンポジスト 阿南英明、迫井正深、釜菴敏、安藤高夫、登谷大修、豊田剛一郎

17:00～18:30 シンポジウム②「慢性期医療のキャリアアップ」

趣旨：日本は超高齢社会に突入し、2025年に向けた地域医療構想に則り、現在医療の再編成が進められています。その中で慢性期医療は急性期治療後の医療・介護全てを担うものと位置づけられ、ますますその重要度を増しています。地域医療構想では、病院病床数の削減に伴い、必然的に在宅・介護施設での医療・介護の充実が要求されています。これからの慢性期医療、在宅診療・介護のニーズに合わせて医療職のキャリアアップが進んでいます。本シンポジウムは総合診療医、看護師特定行為研修、介護認定特定行為業務に焦点をあて、その実情、課題と未来を論じていただきます。

シンポジウム 座長 井川誠一郎 平成医療福祉グループ診療本部長

17:00～17:10 矢野諭 看護師特定行為研修委員会委員長

17:10～17:25 青柳綾子 平成豊中訪問看護ステーション管理者

17:25～17:45 小玉達也 鶴巻温泉病院介護福祉士・科長

17:45～18:05 西尾俊治 南高井病院院長

18:10～18:30 シンポジウム総合討議

座長 井川誠一郎 淀川平成病院院長

シンポジスト 矢野諭、青柳綾子、小玉達也、西尾俊治

【10月15日（金）学会2日目】

9:00～9:50 文化講演

演者 福森伸 社会福祉法人太陽会しょうぶ学園 統括施設長

座長 鈴木龍太 日本慢性期医療学会 学会長

10:00～12:30 シンポジウム③「長期療養のリハビリテーション」

趣旨：近年リハビリテーションの重要性が認められ、主に急性期・回復期で積極的に進められています。しかし超高齢社会では障害を有する生活期が長期に及ぶことが容易に想像され、生活期、終末期のリハビリテーションが求められています。ここではリハビリテーションを単なる機能回復訓練ではなく、心身に障害を持つ人の全人間的復権を理念として、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活の活動を高めることと定義します。摂食嚥下、排せつ、拘縮に関する取組だけでなく、利用者をベッド上で寝たきりにしないような離床・端坐位の取組が重要です。そのためにはリハ療法士以外に生活に寄り添っている看護・介護等を含む多職種での取り組みが必要であると考えます。可能な限り介護の困難な状態を改善し、廃用症候群・重症化予防と積極的な自立支援の視点から協力し合って多職種で支援を行い、全介助の期間をできる限り短縮し、たとえ全介助であっても、あるいは終末期となっても支援が継続されることを期待します。本シンポジウムでは医師、看護師、リハ療法士、認知症専門医、介護施設からそれぞれのアプローチをお聞きし、長期療養でのリハビリテーションの在り方を論じていただきます。

基調講演 座長 今西剛史 鶴巻温泉病院副院長

10:00~10:40 菅原健介 小規模多機能居宅介護事業所ぐるんとびー代表

10:40~11:00 栗生田友子 日本リハビリテーション看護学会理事長

シンポジウム 座長 栗生田友子 日本リハビリテーション看護学会理事長

11:00~11:20 近藤国嗣 全国デイ・ケア協会会長

11:20~11:40 斉藤秀之 日本理学療法士会副会長

11:40~12:00 熊谷頼佳 京浜病院院長

12:05~12:30 シンポジウム総合討議

座長 栗生田友子 日本リハビリテーション看護学会理事長

シンポジスト 菅原健介、近藤国嗣、斉藤秀之、熊谷頼佳

12:40~13:30 ランチョンセミナー

13:40~16:30 シンポジウム④ 「エキスパートから学ぶ慢性期医療のケア」

趣旨：慢性期医療では独特の患者・利用者のケアが必要な場合があります。また 2018 年に新設された介護医療院では病院と違い、身体拘束は原則禁止です。介護医療院のアンケートでは拘束しない看護・介護に職員の皆さんが悩んでいる実態が見えています。

本シンポジウムでは皆さんが現場で役に立つような慢性期のケアをエキスパートの方々にお教えいただき、またケアの進化にも言及していただこうと思っています。

身体拘束をしない看護・ケア、口腔ケア、排便コントロール、爪・フットケア、褥瘡・MDRPU (medical device related pressure ulcer) のエキスパートの皆さんです。

基調講演 座長 小澤美紀 鶴巻温泉病院看護部長

13:40~14:10 田中志子 内田病院理事長

14:10~14:40 糸田昌隆 大阪歯科大学教授

シンポジウム 座長 田中志子 / 小澤美紀 鶴巻温泉病院看護部長

14:50~15:15 種子田美穂子 大牟田市保健福祉部

15:15~15:40 右田貴子 巻爪レスキューつくば

15:40~16:05 佐々木正吾 秋田県立医療療育センター慢性呼吸器疾患看護認定看護師

16:10~16:30 シンポジウム総合討議

座長 田中志子 / 小澤美紀 鶴巻温泉病院看護部長

シンポジスト 種子田美穂子、右田貴子、佐々木正吾、糸田昌隆

16:40~16:50 次期学会長挨拶

16:50~17:20 閉会式